

Maruka News

2023
JAN
No.
704
マルカニュース

2023年1月5日発行
編集・発行 / 株式会社マルカ
<http://www.maruka.co.jp>
〒540-0024 大阪市中央区海船町1-2-10
TEL.06-6450-6823



UNISOL

マルカ

2023年度 新年祝賀式要旨



飯田 社長

皆さん、明けましておめでとうございます。

令和5年の年が明けました。皆さんには年末年始の7日間の休みをいかに過ごされたことでしょうか。ご家族やご友人とともにゆく年くる年に思いを馳せながら、普段とは異なった有意義な時間を過ごされたことと思います。

昨年は、世の中の不確実性が増え、高まる「VUCAの時代」というものを、今までは概念として頭で理解していたものから、今や現実のものだと実感した1年ではなかったかと思います。令和2年1月から続く新型コロナウイルス感染に加えて、昨年新たに始まったロシア軍によるウクライナ侵襲、世界的なエネルギー危機、食料危機、部品等の供給問題、急激な円安、物価の上昇とインフレの進行、金利の上昇など私たちが「ブラックスワン」といえる危機を身近に実感する出来事が次々と起こりました。

このような状況は今年も続くと思われます。新型コロナウイルス感染への対策としては、個人がワクチンなどで抵抗力(=免疫力)を強化することが一番で、昨今ではその効果が重症化するリスクが和らいできたようです。同様に世界経済の「ブラックスワン」対策としては、企業が抵抗力(=人的資本)を強化することで、危機を緩和することができますと考えます。

昨年は「人的資本」という言葉がいろいろな場面で盛んに取り上げられました。人間の仕事は古くは「労働力」次が「人的資源」最近「人的資本」と言われています。

最近読んだ本の中で、人類が歴史上で産業革命後に大きく発展を遂げた大きな要因は、「人的資本」という概念の成立と、「人的資本」へのたゆまぬ投資(教育=スキルの習得)であるとありました。雑駁に言えば、人類が今後も発展を続けていくためには「人的資本」への積極的な投資が不可欠であると読めました。(その他「多様性」の重要性についても述べられています。)

これを企業に当てはめると、事業の発展にはイノベーションが不可欠だと言われる中で、新しい戦略に見合うチームを自社内で作るためには、今いる個人をリスキル(re-skill)する(同じ人物が新しいスキルを習得することで能力の組み替えを行う)ことが必要になります。従って、「人的資本」に投資を推進しようという組み立てです。

このように今年は「人的資本」がキーワードになること間違いのないと思います。マルカにおいても様々な場面を通じて「人的資本」への投資を積極的に進めていく予定です。皆さんにも自身の自己啓発の一環として「リカレント」に励んで貰いたいと思います。「人的資本」増強を今年1年の目標にしたいと考えます。

さて、新年恒例の今年の干支について、安岡正篤氏の書物を参考に少しお話をしたいと思います。

今年の干支は、「癸卯(みずのと う)」で十干の10番目にあたる「癸」と、十二支の4番目にあたる「卯」の組み合わせで、陰陽五行説では、「癸」が水の陰のエネルギーを表し、「卯」が木の陰のエネルギーを表します。

「癸」の意味するところは、万事筋道を立ててはかる、考える、処理するという意味です。ところが筋道を誤る、筋道をなくすると、物事は自然に混乱し、その結果はご破算にしなければならぬことにもなる。しかしながら、十干の最後にあたる「癸」は生命の終わりを意味するとともに、次の新たな生命が成長し始めている状態でもあります。

一方「卯」の意味するところは、隔気の衝動であり、草木でいうならば、芽や葉が茂るということですが、卯はもともと兎ではなくて、「いばら」「かや」という文字であるそうで、「いばら」や「かや」は茂って根がはびこりこんがらがると、どうにもならなくなるものです。

けれども「卯」という字の形が「門が開いている様子」を連想させることから「冬の門が開き、飛び出る」という意味があるとされ、何かを開始するのに縁起が良く、希望があふれ、景気回復、好転する良い年になるともあります。

したがって「癸卯」という年は「万事筋道を立てて処理していけば、繁栄に導くことができるけれども、筋道を誤るとこんがらがって「いばら」や「かや」のように「あがき」のつかぬことになる。その果ては混乱、動乱、あるいはぶち壊しご破算になるぞ」という意味になるそうですが、他方では「これまでの努力が花を開き、実り始める」といった縁起のよいことを表している」ともいえるそうです。

つまりところ「万事筋道を立てることを怠ることなかれ、されば花が咲く」ということだと思います。今の世の中、何が正しい筋道であるかが分かりづらいですが、常に正しい筋道を見極める意識と見識を持って今年1年間を行動しましょう。

最後になりますが、今年が全世界のマルカグループで働く全社員とご家族の皆さんにとって、一つでも多くの幸せを感じる1年となることを祈念して止みません。UNISOLをさらに強力に進めていきましょう。

今年も皆さんの努力が報われ、幸せな1年にいたしましょう。

第15回オートモーティブワールド(クルマの先端技術展)にて

マルカがEVブースに 初出展いたします!

15th

**AUTOMOTIVE
WORLD** 

2023年1月25日(水)～27日(金)の3日間、東京ビッグサイトにおいて

第15回オートモーティブワールドが開催されます。製品展示とともに

マルカのEVビジネスへの取り組み姿勢と存在をアピールします。

同展に出展予定のマルカのブース等の情報を以下の通りお知らせします。

皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

15th AUTOMOTIVE WORLD 2023 (Advanced Automotive Technologies Show) will be held at "Tokyo Big Sight" from January 25 (Wed.) to 27(Fri.), 2023.

We are pleased to inform you that we are going to have a booth to show our solution proposals to EV business with several products as follows. We look forward to welcoming you at the Show.

■ブース/東5ホール E3718

■出展予定製品/株式会社マルナカ:ヘリウム回収装置:HER-T21

■BOOTH / EAST Hall 5 E3718

■Products to be exhibited / He Recycling Equipment (HER-T21) by MARUNAKA Co., Ltd.

電動化市場動向とマルカ「EV」

EVとは？

一言でEV(電動化車両)と言っても様々な定義があるので、混乱を避けるために、まずはEVの定義についてご説明いたします。

EVはElectric Vehicleの略称ですが、広義には電動化された全ての車両、すなわちハイブリッド(HEV)を含む電動化車両全体を指す場合がありますが、この場合、広義として明確に定義するために“xEV”と表記することがあります。“x”は様々な種類の電動化車両を対象にしているという意味を表します。“HEV”はその内の一つの種類になります。

広義の意味でのハイブリッド(HEV)の種類は？

- マイルドハイブリッド(MHEV)
48V仕様の小さなモーターを搭載。エンジンで走行しモーターはアシストのみ。
- ストロングハイブリッド(SHEV)
比較的大きなモーターを搭載。エンジンを停止しモーターのみで走行も可能。
- プラグインハイブリッド(PHEV)
大きなバッテリーを搭載したSHEV。長時間モーター走行可能。
- シリーズハイブリッド(e-Power等)
エンジンで発電された電力を使ってモーターで走行。



一方、狭義のEVは、駆動用・発電用を問わず内燃機関を持たずに、完全にバッテリーから供給される電力のみでモーターを駆動させる車両を指します。この電動化車両だけを明確に限定して定義するために“BEV”(Battery EV)という表記が使われます。

以下、広義の場合は“xEV”、狭義の場合は“BEV”と、使い分けた表記で話を進めてまいります。

Battery EV(BEV)の市場動向

2040年までの世界の新車販売台数とBEV販売台数の推移予測を表1及び(図1)に示します。

(図1)に示す通り、世界の新車販売台数は右上がり増加し、2030年に1億台を超え、2040年には1億2千万台に達すると推移予測されています。

一方、BEVの販売台数に注目すると、2020年時点では新車販売台数の約3%に留まっていたBEVは、2025年頃から普及が加速し2030年時点で24%(約25百万台)に達し、2040年には54%(約65百万台)に更に増加して、全世界の新車販売台数の半分以上を占めると予測されています。

「EV推進室」の役割

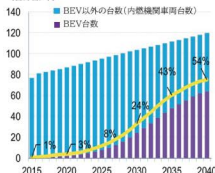
電動化に伴って拡大する将来のビジネス機会をしっかりと捉えて、顧客にソリューション提案できる体制を整えるため「EV推進室」が2022年5月に開設され、マルカ東京支社内で活動を進めています。

「EV推進室」の役割は、従来の内燃機関(ICE)を対象としたビジネスでの実績をベースに、HEVのビジネスを確かなものにしなが、内燃機関を持たないBEVという新たな戦場においても積極果敢に参入をリードするという役割です。

表1. 世界新車販売台数とBEV販売台数

	全新車台数	BEV台数	BEV比率
2020	90百万台	3百万台	3%
2030	105百万台	25百万台	24%
2040	120百万台	65百万台	54%

(図1) 世界新車販売台数とBEV販売台数
(百万台/年)



Source: Bloomberg New Energy Finance

推進室」の役割



マルカのビジネス拡大のために

マルカの総力を挙げて、新たな E-Axle・Batteryビジネスへ参入!

E-Axleとは?

- BEVにおいて、「エンジン+トランスミッション」に代わる機能。前輪軸または後輪軸あるいは両方に搭載される。
- モーター・インバーター・ギヤが三位一体となったBEV用駆動ユニットの呼称である。



(図2)

2025年以降に急拡大が予想されるBEV対応計画詳細は、顧客も未だに手探り状態で検討中ですが、将来のビジネス拡大へ効率的に対応するため、多くのOEMは、(図2)に示す様なBEVプラットフォームを検討しています。ここでは、そのプラットフォームがカバーすべき車両仕様、E-Axleやバッテリーのシリーズ化が検討対象になりますので、その生産に関わるビジネスがマルカのスコープです。

(図3)にモータースターターの一例を示します。マルカは、既にHEV用モーターの生産設備を受注していますが、更に高性能・大型化するBEV用モーターのニーズを的確に捉えて対応を進めます。



(図3) BEVプラットフォーム

(図4)から(図6)にインバーター・バッテリーの製品例を示します。これまでマルカの関わりが薄かった分野のインバーターやバッテリーですが、これらの製品に求められる新たな生産技術や設備に対しても積極果敢に挑戦すべく顧客ニーズの把握に努めています。



(図4) モータースターター (ヘアフィン)

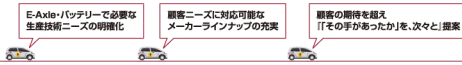
営業担当と共に、BEVに参入しようとする顧客を訪問し、より高い視点、より先のスコープで方針を探り、密度の高いコミュニケーションの中から技術課題を抽出し、それに応えられるSolutionを提案しようと模索しています。



(図5) インバーター冷却器 (銅フィン)

即ち、これはマルカが目指す「**「その手があつたか」を、次々と**」という提案の実践そのものです。

マルカのビジネス 拡大のために



バッテリーモジュールとは? バッテリーパックとは?

- 複数のバッテリーセル(図5)から直列接続で構成され充放電機能が備わったものがバッテリーモジュール。(図6)バッテリーモジュールの出力は直列接続するセル数で決まる。
- 搭載が容易な様に、複数のバッテリーモジュール(図6)やコントローラー等のシステム全体を一つの容器に収めたものがバッテリーパック。



(図6) バッテリーモジュール

第15回オートモーティブワールド

2023年1月25日から27日までの3日間、東京ビックサイトで開催される「第15回オートモーティブワールド」に出展し、マルカのBEVビジネスへの取り組み姿勢と存在をアピールし、新たな顧客とのコミュニケーションとビジネス獲得に挑みます。

(EV推進室 室長 齋藤 勝夫 記)

JIMTOF 2022



JIMTOF2022(日本国際工作機械見本市)に (株)マルカ/(株)ジーネットが共同出展しました!

2022年11月8日～13日の6日間、東京ビッグサイトにおいてJIMTOF2022が開催され、FA営業部がフルサト・マルカホールディングスのグループ会社である株式会社ジーネット^(※)(以下、ジーネット)と共同出展しました。

4年振りの開催となり60周年を迎える今年は861社が出展し、114,158人もの来場者を記録しました。

マルカからは、AI付協働ロボット(Neura Robotics社)・カーボンファイバー3Dプリンター(Markforged社)・狙いシャワー洗浄機(管製作所)・高性能チラー(ソノルカエンジニアリング)・空気清浄機(山洋電気)を出展いたしました。マルカ/ジーネットのお取引先様が全国からお立ち寄りくださり、多くの来場者様でブースは賑わいました。来場者様には展示機・出展機器を直接ご覧いただき、多数のお問い合わせをいただきました。また、多忙の中、竹下会長、飯田社長も来場され「UNISOLブース」の様子や、出展機のデモ等を観ていられました。

直近好決算を発表されているお取引先が多数おられ、お客様からいただいた引合いへは出展機を中心にPR・ご提案を展開して参ります。フルサト・マルカHDは、お客様の「叶えたい」があふれる社会を目指して、「その手があったか」を、もっともっと提供してまいります。

最後になりますが、今回の共同出展にあたり、出展いただきました各メーカー様はじめ、ジーネット営業本部の東・機工統括担当部長並びに諸般ご協力・ご対応くださった全ての皆様にご場をお借りして厚くお礼申し上げます。

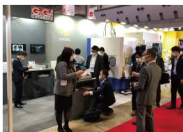
(FA営業部第一課長 段 春峰 記)

(※)株式会社ジーネット:

明治42(1909)年創業、工作機械・切削工具・ツーリングの幅広いアイテムで最適な対応、ロボットシステムインテグレーターに強み。平成14(2002)年にフルサトグループに加わる。



(狙いシャワー洗浄機KTS434)



(会場ブース)



(協働ロボット 左: HAN'S 右: LARA)

マルカ・マレーシア社 設立30周年記念式典

マルカ・マレーシア社^(*)は、2022年10月21日(金)に設立30周年記念式典、並びに祝賀パーティーを行いました。当日は、仕入先様を当社事務所にお招きし、従業員も合わせて60名を超える規模の祝典でした。

式典では、まず、株式会社マルカの竹下敏章会長から『設立30周年を迎えることができたのは、ひとえに仕入先の皆様のご支援・ご指導と、マルカ・マレーシア社の従業員の皆さんの努力の賜物であるとここに改めて感謝申し上げます』との謝意が表され、次いでマルカ・マレーシア社・Chan Kok Leong社長に記念プレートが贈呈されました。

それを受けて、Chan社長が『フルサト・マルカホールディングスの一員として、仕入先の皆様とともにマルカ・マレーシア社の全社員が一丸となって持続可能な企業を目指して更なる前進をまいります』と、次の50周年に向けて強い決意表明をいたしました。従業員代表として、営業第三部のKamarul Zaman Bin Halimさんが『チャン社長のリーダーシップの下に、社員一同、50周年に向けてしっかり歩みを進めたい』と述べました。

祝賀パーティーは、竹下会長とChan社長による設立30周年記念ケーキへの入刀など、マルカ・マレーシア社の新たなるステージへの出発となりました。営業第四部のNurul Nadzirah Aisaさんの司会の下に、ご臨席いただいた皆様とマルカ・マレーシア社従業員とが盛大で楽しいひとときを過ごし、明日への英気が十分に養われました。

^(*)マルカ・マレーシア社:

マルカ・マレーシアはクアラルンプールで産業機械・工作機械の直接販売を行っています。特に日系進出企業の海外展開を強力にサポートしています。

(東京産業機械第三部第一課 松崎友樹 記)

MAJLIS SEMPERA ULANG TAHUN MARUKA MALAYSIA YANG KE-30

Maruka Malaysia telah mengadakan majlis ulang tahun yang ke-30 pada hari Jumaat iaitu 21 Oktober 2022 dan bertempat di bangunan Pejabat Maruka Malaysia. Majlis ini dihadiri seramai 60 orang yang terdiri daripada kakitangan Maruka Malaysia dan para pembekal.

Di majlis tersebut, ucapan di mulakan daripada Mr Toshiaki Takeshita iaitu Pengerusi Maruka Corporation, Jepun berkata "Sepanjang penubuhan 30 tahun Maruka Malaysia adalah hasil daripada sokongan yang kuat dan juga bimbingan kakitangan Maruka Malaysia itu sendiri. Tidak lupa juga, para pembekal yang sangat menyokong dalam usaha ini. Terima Kasih yang tidak terhingga kami ucapkan di atas hubungan kepercayaan yang dibina dengan teguh.

Di susuli dengan ucapan daripada Mr Chan Kok Leong iaitu Pengerusi Maruka Malaysia, berkata, "Sebagai ahli Furusato Maruka Holdings, kakitangan Maruka Malaysia akan sentiasa bekerjasama dengan para pembekal untuk memajukan dan akan memastikan menjadi sebuah syarikat yang teguh". Mr Chan menyatakan keazamannya yang kuat bagi menjelang ulang tahun ke-50 akan datang. Sementara itu, wakil daripada pekerja, Mr Kamarul Zaman Bin Halim dari jabatan Jualan-3 di bawah kepimpinan Mr Chan, "para kakitangan akan lebih bersemangat dan memastikan kemajuan yang mantap menjelang ulang tahun yang ke-50".

Di akhir majlis, Mr Takeshita dan Mr Chan di jemput ke hadapan bagi memotong kek ulang tahun yang ke-30, menandakan permulaan peringkat baharu bagi Maruka Malaysia. Cik Nurul Nadzirah Aisa dari Jabatan Jualan Ke-4 selaku moderator pada hari berkenaan. Para hadirin sekalian bergembira dan menikmati makanan dan minuman di sepanjang majlis.

(Tomoki Matsuzaki, dari Jabatan Jentara Perindustrian Tokyo 3 Sekyen 1, menyatakan)

^(*) MARUKA (M) Sdn. Bhd.:

Maruka Malaysia menjual mesin industri dan alatan mesin secara langsung di Kuala Lumpur. Khususnya, kami sangat mengalu-alukan dan menyokong perkembangan Syarikat Jepun.



(マルカ・マレーシア社従業員と竹下会長)



(竹下会長挨拶)



(記念プレート贈呈)



(Chan社長挨拶)



(従業員代表後援者カバルさん)



(司会のNurulさん)



(記念ケーキへの入刀)



(パーティーの様子)

Determination to work abroad

海外赴任の決意



マルカ・上海社
営業第四部

奥村 一穂

こんにちは。この度、マルカ・上海社に赴任となりました奥村一穂です。私はマルカに入社後名古屋産業機械部配属となり、今年で7年目を迎えました。入社時から海外で働いてみたいという思いがありましたので、念願叶っての海外赴任となりました。

名古屋支店在籍中には、ユーザー様・仕入先様、社内の皆様には大変お世話になりました。私の力不足のせいでご迷惑をお掛けすることも多々ありましたが、皆様のサポートとお力添えがあり今日まで頑張る事ができました。皆様から沢山の事を学び、充実した日々を過ごすことができたことにも感謝しております。

初めての海外赴任は、新たな文化・価値観の環境の中へ飛び込むワクワク感と、自分が海外で果たして仕事ができるのかという不安が入り混じった複雑な心境です。
(入社前もこんな感情だったなあ...)

マルカ社内での女性営業としては、メキシコに赴任中の角さんに続き私で2人目の海外赴任者となります。今回このようなチャンスをいただけたことはとても光栄に思います。後に続く女性営業社員の「道」を作れるよう、赴任先でも多くの事を吸収して、営業としても人間としても大きく成長できるよう日々前向きに頑張りたいと思います。

皆様、中国上海近辺にお立ち寄りの際には、是非私にご連絡ください!! (メールアドレスは変わらず使用する予定です。)

お世話になった皆様へ、またどこかでお目に掛かる日を楽しみにしております!

再见!! (中国語でまた会いましょうという意味です)

2023年度 新卒者内定式



(マルカ内定者交流会)

(辞令交付)



2022年10月3日(月)に、2023年度新卒者の内定式を執り行いました。内定式前にはマルカ内定者だけで交流会を開き、初めて対面が集まった同期のメンバーとこれまでの経験・考えを共有し合い、親睦を深めました。

午後からの内定式では、飯田社長から『「創意無限」という創意工夫・色々な発想から生み出される様々な課題への答えである「Unique Solutions」が、次から次へと湧き出て「その手があったかを、次々と(グループスローガン)」という化学反応が起きる事を期待しています』という言葉とともに、『健康に留意しつつ、残り少ない学生生活を悔いなく過ごしてください』とのメッセージが贈られました。

内定者は緊張した面持ちではありましたが、各自が入社までに取り組む課題・入社後の抱負等の発表を含めた自己紹介を行いました。

内定式後には、社外講師を迎えて『日本経済新聞の読み方講座』を行いました。内定者研修の一環として11月から3か月間、日経新聞を各内定者の自宅に配送してもらいます。

最後には、グループ会社である「フルサト工業・ジーネット・岐阜商事」の内定者とも交流会を実施しました。グループ内で会社の垣根を越えて交流し、グループ同期としての一体感が醸成され、将来的にグループを横断した「Unique Solutions」が生まれる事を期待します。

入社までの期間は、様々なことにチャレンジをして、来年4月の入社式で元気に再会できることを楽しみにしております。

(人事部 坪内 明広 記)

ソルカエンジニアリング(株)冷温システム事業部が (株)ジーネット主催の展示会に出展いたしました!



(滋賀地区 実機展示会)

ソルカエンジニアリング(株)冷温システム事業部は、(株)ジーネット(以下、ジーネット)の各営業所が主催する展示会に冷却装置を出展しています。

近時はコロナウイルスの影響で展示会に中止や延期が相次ぎましたが、5月以降は14箇所の展示会に参加しています。これまでのWEB開催等とは異なり、お客様に会場まで足を運んでいただき、実際に装置に触れてもらう事が出来る上に、対面での商談や商品説明が出来るようになりました。各展示会での来場者数も平均約200名に上り、毎回有意義な出展となっております。

当社製冷却装置の強みのひとつとして「納期」が挙げられます。他社製品が軒並み長納期となっている中、当社は計画的な部品発注により、短納期を実現しています。またユーザー様のご要望に合わせた「カスタマイズ」も得意としており、他社製品との差別化を図っております。

冷却装置は、従来「マルカブランド」で販売していましたが、展示会以降は「UNISOLブランド」で展開をしています。UNISOLブランドの認知度を向上すべく、展示会で頂戴した引合案件はジーネットの各営業担当者と協力し、一件でも多くのご注文をいただけるよう努めて参ります。

(冷温システム事業部 営業課 永井 新吾 記)



(かんたん解決ソリューション博)



(総務 省エネ 労働安全対策フェア)



(NEW ITEM PROMOTION FAIR)

ぶらり探訪

vol.10

マルカ・アメリカ社 カンザスシティ本社



カンザスシティ



"Fountain in Country Club Plaza area"



(噴水/カントリークラブ・プラザ地区)



(ロダン 考える人)



"Giant Badminton Shuttle in The Nelson Atkins Museum"



"Maruka U.S.A. INC. Kansas City Office-Headquarters"

マルカ・USA社

Maruka USAの本社は、アメリカ中西部のミズーリ州に位置します。

フランス植民地時代のなごりがあり、ヨーロッパの街並みを感じさせる建物や教会なども多く、自然豊かで、四季を感ぜられる州です。

事務所から車で30分ほど走ったところにある、カンザスシティのショッピングエリア「カントリークラブ・プラザ」地区は歴史の古い建物や彫刻などがたくさんあり、その街並みはまさにヨーロッパを感じさせるものです。1923年にオープンしたこのショッピングエリアは、世界で初めての「ドライブインのショッピングエリア」と言われています。カンザスシティ市は、市内には200以上の噴水がある「噴水の街」としても有名で、カントリークラブ・プラザ地区にもいくつもの噴水があります。

ショッピングエリアから車で5分ほど走ったところには「ネルソン・アトキンス美術館」があり、コレクションの充実度は全米屈指と言っても過言ではありません。この美術館は二人の篤志家による寄付によって1933年に開館し、巨大なバドミントンのシャトルの現代彫刻からはじまり、ゴッホ、ゴーガン、モネといった誰でもよく知っている有名画家の作品がたくさん展示されています。なんと言ってもこれら全てが無料で鑑賞できてしまうことが驚きです。

アメリカ中西部のカンザスシティにお越しの際はぜひお見逃しの無いように。

(マルカ・USA社 統括本部長付部長 大倉智晴 記)

Visiting Maruka Office Vol.10 Maruka U.S.A. INC. KansasCity,Mo-Headquarters

Maruka USA's Headquarters is located in the State of Missouri in Midwestern United States. Missouri is a State where you can feel the four seasons with abundant nature. Also, there are many buildings and churches with the reminiscent of the French colonial era that make you feel as if you are on the streets of Europe.

About 30 minutes' drive from the office will take you to the Kansas City's famous shopping area called "Country Club Plaza" where you can see full of old buildings and sculptures. The area looks truly "Europe". This shopping area opened in 1923 and is said to be the world's first "drive-in" shopping area. There are more than 200 fountains in Kansas City and the City is renowned as "The City of Fountains". Several fountains are found in Country Club Plaza area.

The Nelson Atkins Museum is just about 5 minutes' drive from the shopping area and it is no exaggeration to say that the collection there is one of the best in the United States. The museum opened in 1933 with donations from two volunteers and features many well-known painters including, but not limited to, Van Gogh, Gauguin and Monet. You will be attracted by the sight of a sculpture of a Giant Badminton Shuttle in front of the museum. Surprisingly, you can watch them all free of charge!

Don't miss it when you have a chance to visit Kansas City in the Midwestern United States.

マルカの動き

動き

- 10月 3日：新キャンペーンオープニング(訓示)
：内定式
10月12日：経営会議・営業会議
11月 9日：経営会議・計画委員会
12月28日：業務納式会

Jiji PHOTO



(新宿花園神社西の市 東京産業機械第三部)

入社辞令

11月 1日付/千々岩 遥 人事部

表彰

一般表彰

【HSK(漢語水平考試)3級】

中村 魁牙 経理部

【ファイナンシャル・プランニング技能検定3級】

千福 翔太 経理部

殊勲賞

名古屋産業機械第一部 2件

名古屋産業機械第二部 1件

東京産業機械第一部 1件

マルカ・アメリカ社 3件

マルカグループ社員の家族に乾杯

Vol.7

私には2歳になる娘がいます。最近ついに「イヤイヤ期」が来たのか「お着替えイヤ!」「くっく(靴)はかない!」「ほいっくんイヤ〜!」と、毎朝小さな怪獣との戦いが繰り広げられています。

夕方、仕事が終われば娘を保育園に迎えに行き「抱っこ!」と足元に泣いてすがりつくのなだめながら夕食を作ります。食べ終われば、夫と娘がお風呂に入っている間に洗濯機をまわし、お風呂からあがってパジャマ姿のまま「まだ遊ぶ!!」と走り回る怪獣を捕まえて寝かしつけ(そのまま一緒に寝落ちしてしまう日も…)。夕食の食器を洗い、明日の保育園の準備をして、連絡帳を書き、ようやく私もお風呂に入って一息ついた頃にはもう日付が変わる頃……。毎日必死で仕事と家事・育児の両立。でも娘の寝顔を見ると一日の疲れも(少しだけ)吹き飛びます。

私が毎日頑張るのは、手間がかかるけどかわいくて仕方がない娘と、色々と細かく面倒くさい私に付き合ってくれる寛容な夫の協力があるからこそです。いつもありがとう。これからも家族みんなで力をあわせて頑張ろうね。

そして、同じように子育てをしながら仕事をされている“ワーママ”のみなさん、毎日日本当にお疲れさまです!いつか子どもが大きくなって手がからなくなり「あの頃は毎日大変だったよね〜」と言える日が来るまで、共に頑張っていきましょう!

(業務所大版産機・機材 井上 綾子氏)



限りある資源を有効活用

Helium Recovery system

ヘリウム回収装置

- ヘリウム回収装置は、製品の洩れ検査等で使用したヘリウムガスを回収、再利用します。
- ヘリウム洩れ検査機を長年に渡り製造している弊社だからできる高効率のヘリウムガス回収が特徴です。

ヘリウム回収装置導入 メリット

ヘリウム価格の高騰、
供給危機リスクを低減し運用コストを削減

常時He濃度監視による任意の
濃度運用が可能



HER-T2



株式会社マルナカ

お問い合わせは



株式会社マルナカ

EV推進室へ
東京 TEL.03(6811)7311 担当 斎藤
Email maruka.tokyo@unisol-igr.com

